

日本図書館情報学会会報

No. 169

2018年4月

日本図書館情報学会事務局

〒182-8525 東京都調布市緑ヶ丘 1-25

白百合女子大学 今井福司研究室内

(事務局業務に関する問合せ先)

(株)ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ホームページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

学会活動の基盤強化に向けて

会長 小田 光宏

2018年度の学会運営の最大の焦点は、現役員会が、1988年以降30年ぶりの会費改定を計画していることかと思えます。「会報」No. 168で示したように、会費改定を進める場合には、本年度の総会の議案とすることを基本方針としています。それゆえ、2017年度にお願いしたアンケートや意見表明をも踏まえて、総会の議案とするかどうか、そして、議案とする場合にはその改定内容をどうするか、現在、最終的な判断をすべく、検討を行なっています。

この作業を進めるにあたって、学会とは何か、学会とは何をどのようにするところなのか、何度も自問して参りました。「何のために会費を改定するのか」という問いともなります。会費改定そのものが、学会の運営における目的では決してないからです。研究を促進させ、また、研究発表の機会を充実させるためと答えれば、抽象的には十分でしょう。しかし、具体的に、どのように、どの程度こうした活動を行うのかと問い直すと、答えを一つにすることは難しくなります。

しかも、導き出した答えに対して、「その答えでよいのか」と、繰り返し確認する日々を経るところともなりました。「先送りしてしまおうか」という気持ちにまったくならなかったと言え、それは嘘になります。しかし、本学会の弱体化は、日本における図書館情報学の衰退につながる門を開くことになりかねないという意識を強く持ち、また、会費改定グループによる学会の財政状況や将来的な見通しに対する考察が論理的かつ根拠に基づくものであるという認識に立ち、学会活動の基盤強化につながる時機を逃してはならないと、改めて思うに至りました。

もちろん、会費改定ばかりでなく、これまで同様、「変革」や「省察」を旨として、運営に当たる所存です。その際、異なる意見に耳を傾け、変えるべきことと変えてはならないことを見極めながら進み、また、変えることができるのは何なのかを、会員のみならず常に考えて参ります。

役員一同、これまで以上に努力いたしますので、引き続き、ご支援・ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

元会長・長澤雅男氏のご逝去を悼む

会長 小田 光宏

本年3月11日、元会長・長澤雅男氏のご逝去されました。85歳でした。ご冥福を、心からお祈り申し上げます。

氏は、本学会の役員を四半世紀近くお務めになり、その貢献は多大なものがあります。1977年度から1978年度の期に評議員（現行の理事）となり、1979年度から1986年度までは理事（現行の常任理事）を務められました。その後、故・岩猿敏生会長のもと、1987年度から1995年度まで副会長として、また、1996年度から2001年度まで会長として、本学会を導かれました。

その間、研究大会時のシンポジウムの開催と「論集・図書館学研究の歩み」の発刊、『図書館情報学ハンドブック』や『図書館情報学用語辞典』の編纂、日本図書館情報学会への名称の変更と役員体制の合理化など、本学会の現在に至る基盤を固める取り組みの先頭に立たれました。会長職を退かれた後は、後進に対する配慮を込めて本学会から身を引かれましたが、精神的な支えであり続けたことは、多くの会員に共通する想いのはずです。

今後は、氏が残された成果を、いっそう実りあるものにすべく、会員のみなさま方と力を合わせ、図書館情報学のますますの発展に向けて邁進したいと思います。これまでの感謝とこれからのに向けての決意をここに示して、哀悼の意といたします。

2018年度日本図書館情報学会春季研究集会のご案内

会員各位

会長 小田 光宏

2018年度春季研究集会を早稲田大学において、下記の要領で開催いたします。会員のみなさまにはふるってご参加ください。参加を希望される方は、学会ウェブサイトから、所定の期日までにお申込み願います。

記

主 催：日本図書館情報学会

日 時：2018年5月12日（土）10:15～17:00

会 場：早稲田大学早稲田キャンパス国際会議場（18号館）3階

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-20-14

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

アクセス：

- ・高田馬場駅より早大正門行きバス 西早稲田下車 徒歩3分
- ・地下鉄東西線早稲田駅より 徒歩10分
- ・都電 早稲田駅より 徒歩2分

参加費：正会員 2,000 円，学生会員 1,000 円，非会員 3,000 円

申込締切：2018 年 5 月 5 日（土）

申込先：学会ウェブサイト（<http://jslis.jp/>）からリンクを辿るか、申し込みフォーム（<https://goo.gl/Soxa21>）に直接、アクセスしてください。

2018年度春季研究集会(早稲田大学)プログラム

2018.4.9 現在

10:15～10:30	開会式(第1会場(第1会議室))		
	第1会場(第1会議室)	第2会場(第2会議室)	第3会場(第3会議室)
10:30～11:00	河本穂馨(筑波大学大学院), 辻慶太(筑波大学) 公共図書館内の飲食可否に関する利用者の意識と利用実態及び図書館の周知方法		山田翔平(東京大学大学院) 大学図書館の蔵書の構成と学問領域の関連:経済学に着目して
11:00～11:30	松尾羽奈子(青山学院大学大学院) 公共図書館における高齢者サービスに関する研究:認定司書へのインタビューを元に	山中康行(桃山学院大学大学院) 日本図書館史における断絶と連続:文庫から図書館へ	橋詰秋子(慶應義塾大学大学院) 「著作」の粒度:大学図書館コレクションにおける全体部分関連とAggregates
11:30～12:00	松野南沙恵(明治大学大学院) 日本のヴァーチャルレファレンスに関する調査	前川和子(元大手前大学) F. チェニーにおける書誌、『日本の参考図書解題』、『日本の参考図書』などについての考察	飯尾健(京都大学大学院) 情報リテラシーの能力枠組みに関する研究:「高等教育のための情報リテラシー基準」の拡張に向けて
12:00～13:15	昼休み(1時間15分)		
	第1会場(第1会議室)	第2会場(第2会議室)	第3会場(第3会議室)
13:15～13:45	河西由美子(鶴見大学), 森柚衣(元鶴見大学) 幼稚園保護者の公共図書館児童サービスに対する認識に関する調査	谷口祥一(慶應義塾大学) IFLA Library Reference ModelとBIBFRAME 2.0の統合:マッピングからマージへ	上岡真紀子(帝京大学) 全学的教育改善プロジェクトにおける図書館員の役割:パデュー大学IMPACTプロジェクトを事例として
13:45～14:15	藤牧功太郎(新宿区役所) 苦情に対する公立図書館職員の意識とその特性に関する研究:「日本苦情白書」の質問紙を用いた新宿区立図書館の職員意識調査の事例から	望月有希子(筑波大学), 逸村裕(筑波大学), 江前敏晴(筑波大学) 図書館蔵書の酸性化に対する大気汚染の影響:慶應義塾大学と筑波大学の図書館蔵書の酸性状態の比較	黒宮寛之(東京大学大学院) 卒業研究要旨を活用したラーニング・アナリティクス:中等教育学校における卒業研究要旨31年分の定量的記述
14:15～14:45	葉袋秀樹(元筑波大学) 「公立図書館の最低基準」(1950年)に関する議論の特徴	河村俊太郎(愛知淑徳大学) 蔵書の分析による東京帝国大学工学部電気工学科図書室の教育, 研究における位置付け	斎藤純(筑波大学大学院) 学校図書館の選書の現状と選書に対する意識:中学校の学校図書館担当者へのインタビュー調査をもとに
14:45～15:15	桑原芳哉(尚綱大学) 日本の公共図書館は何館か:統計調査の差異に関する考察	畔田暁子(明星大学) 中学校美術科における鑑賞対象を日本十進分類法の分類体系に位置づける試み	根本彰(慶應義塾大学) 戦後教育学の出発と学校図書館の関係
15:15～15:30	休憩(15分)		
15:30～16:00	佐藤翔(同志社大学), 池本実緒(同志社大学), 小池敬大(同志社大学), 松原早菜(同志社大学), 山中飛鳥(同志社大学), 河田姫碧(同志社大学), 宮崎直子(同志社大学), 永野ゆりえ(同志社大学), 永尾梨乃(同志社大学) 公共図書館内における利用者の注視行動の傾向と図書館デザインの影響	磯井純充(森記念財団) マイクロ・ライブラリーの研究:まちライブラリー, 情報ステーション, 恵庭まちじゅう図書館を通じた考察	須藤崇夫(埼玉県立岩槻商業高等学校), 平久江祐司(筑波大学) 高等学校図書館の施設・設備の情報化の現状と課題
16:00～16:30	磯部ゆき江(公社 日本図書館協会), 佐藤正恵(千葉県済生会習志野病院), 三輪真木子(放送大学) 公共図書館のがん情報サービスの課題:提供する資料・情報の視点から	山本順一(桃山学院大学), 寺下由美子(非正規司書) 非正規司書の意識と実態に関する研究:ワークショップを通じて明らかにできたこと	安形輝(亜細亜大学), 上田修一(元慶應義塾大学) 日本における電子書籍化の現状:国立国会図書館所蔵資料を対象とした電子書籍化率の調査
16:30～17:00	桂まに子(京都女子大学), 須賀千絵(実践女子大学), 池谷のぞみ(慶應義塾大学), 田村俊作(元慶應義塾大学), 三輪真木子(放送大学), 八巻知香子(国立がんセンター), 松本直樹(慶應義塾大学) 患者支援機能から見た患者図書室の多様性	—	原田隆史(同志社大学), 佐藤翔(同志社大学) 電車内における情報メディア利用

* 斜線のコマは発表辞退を表します。

* このプログラムは暫定版であり、発表論文の提出をもって確定します。

* 所属等の表示は、教職員(常勤/非常勤)・院生・学部生等問わず、「機関名」(「大学名」)等のみとしてあります。

* 会場として使用する教室は変更の可能性があります。

備考：

(1) 宿泊については、会場校での斡旋は行いません。各自でご手配ください。

(2) 学内には食堂、カフェテリアがありますが、当日は授業日のため混雑が予想されます。昼食はご持参されるか、近隣の飲食店のご利用をお勧めいたします。

(3)当日は早稲田大学中央図書館を見学いただける予定です。詳細は当日受付にてご案内いたします。

2018 年度研究大会からポスター発表を開始します

研究委員会

ポスター発表は、研究大会 2 日目の口頭発表セッション終了後（昼食時間を含んだ 90 分を予定）に行います。ポスター発表に加えて 1 件の口頭発表を、筆頭発表者として行うことはできますが、異なるテーマとすることが求められます。その他の詳細については、次号『会報』6 月号の「第 66 回研究大会のご案内」でお知らせいたします。

会員のみなさまにおかれましては、是非、ポスター発表への申し込みをご検討ください。

学会賞・論文賞・奨励賞候補の推薦募集

学会賞選考委員会

2018 年度の日本図書館情報学会賞、論文賞、奨励賞の候補に関する推薦を下記のとおり、募集いたします。自薦・他薦を問いません。多くの会員からの候補の推薦をお待ちしております。

記

1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞
- (2) 日本図書館情報学会論文賞
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞

2. 選考対象

- (1) 日本図書館情報学会賞：本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：本学会の正会員・学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞：本学会の正会員・学生会員（若手研究者）

3. 選考対象業績

- (1) 日本図書館情報学会賞：正会員によって 2016 年度もしくは 2017 年度（2016.4.1～2018.3.31）に日本語もしくは英語で発表された単著の図書および論文
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：『日本図書館情報学会誌』第 63 巻第 2 号から第 64 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞
 - a. 『日本図書館情報学会誌』第 63 巻第 2 号から第 64 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員による単著論文

b. その他の研究業績については、本学会正会員により推薦されたもの

4. 選考

学会賞選考委員会において学会賞選考委員会内規に基づき審査し、常任理事会および理事会の承認を得て決定する。

[学会賞選考委員会内規の選考基準の部分の抜粋]

(1) 学会賞選考基準

学会賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 単行書として刊行された学術図書もしくは英語の査読付き学術雑誌掲載論文であること。ただし、英語の査読付き学術雑誌論文で、1本のみで対象とすることが難しい場合、同一テーマで刊行された複数の論文を対象とすることもできる。
- 2) 単著であること
- 3) 図書館情報学分野を対象とし、一定の学術的体系性をもつ研究成果であること
- 4) 図書館情報学分野においてオリジナリティのある研究成果であること

(2) 論文賞選考基準

論文賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 日本図書館情報学会誌の当該年度対象の号に掲載された優れた論文であること
- 2) テーマの設定、提示された成果にオリジナリティがあること
- 3) 論文の内容、構成、表現について、論文としての完成度が高いこと

(3) 奨励賞選考基準

奨励賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 日本図書館情報学会誌の当該年度対象の号に掲載された若手研究者による単著論文であること
- 2) 研究テーマの設定が明確で、学術的意義があること
- 3) 研究方法、成果の提示に大きな瑕疵がないこと
- 4) 今後の研究の発展に期待ができること

5. 授賞

2018年度研究大会時に授賞式を行う。

6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した用紙（所定の書式はないが、A4判横書きが望ましい）を7月13日（金）までに必着で郵送ないしは電子メールにて送付すること。なお、推薦者の氏名は非公開とするが、選考過程を報告する際に、推薦理由等については一定程度言及することがあり得る。

- a. 著者名
- b. 著作名（書名、論題名等）
- c. 出版社／収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 推薦者連絡先（メールアドレス明記）
- e. 推薦理由

7. 応募・推薦先

【郵送】〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学文学部

倉田敬子気付 日本図書館情報学会 学会賞選考委員会

【メール】 senkou@jslis.jp (学会賞選考委員会)

役員会等の記録

2017年度第6回常任理事会（開催記録）

日時：2018年1月28日（日）13：00～16：30

場所：明治大学駿河台キャンパス 共同実習室2

出席者（敬称略）：小田，倉田，青柳，三浦，浅石，今井（記録），岩崎，荻原

欠席者：なし

議事内容：

1. 会費改定作業
2. 2017年度事業の総括(各委員会・特命事項に関する報告・協議)
3. 2018年度に向けての検討
4. その他

委員会・事務局より

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」，「執筆要綱」，『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご参照ください。（編集委員会）

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2017年10月15日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/c_reg_171015.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016年10月8日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2016年10月8日改訂
http://old.jslis.jp/journal/JSLIS_review_rule161008.pdf

視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』の PDF 版データを提供いたします。ご希望の方は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。

（編集委員会）

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会

(somu@jslis.jp) まで電子メールでご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDF の添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。 (総務委員会)

2018 年度の会費納入のお願い

2018 年度の会費をすみやかに納入してください。2017 年度までの会費を未納の場合は、2018 年度と併せてできるだけ早く納入してください。なお、会費を 3 年滞納した会員 (学生会員は 2 年) については、その年度末 (3 月 31 日) に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。

また、学生会員で 2018 年 4 月から学籍を離れた方は、会員情報管理システム (SOLTI) から、正会員への会員種別の変更手続きを、すみやかに行なってください。会費の金額が 2,000 円から 5,000 円に変わります。適正な会費をお納めいただきますようお願いいたします。

(事務局)

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会
ゆうちょ銀行 019 店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス、会員種別等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム (SOLTI) から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページ (http://www.jslis.jp/membership_3.html) に掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局 (office@jslis.jp) までメールでお送りください。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。 (事務局)

学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- ・ 金沢みどり編著 『学校司書の役割と活動：学校図書館の活性化の視点から』 学文社 2017 年
- ・ 星野雅英著 『図書館業務に役立つ HTML・PHP 入門：Web サイト構築のための基礎を学ぶ』 樹村房 2018 年

会員のみなさまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局 (白百合女子大学 今井福司研究室内宛) まで 1 部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)

会員異動

学生会員で 2018 年 4 月から学籍を離れた方は、正会員への会員種別の変更手続きを、すみやかに行

なってください。

新入会員

常任理事会において下記の期間に新たに承認された会員を掲載いたします。なお、2015年3月入会審査分から、入会月は承認日の翌月1日に変更となりました。